

DXPの「どうするDX」《概要版》

金融業界のルールチェンジ

デジタル技術と生成AIが金融サービス業界の構造そのものを書き換える「ルールチェンジ」の時代が到来しています。

株式会社DXパートナーズ

2026年1月6日



理論的枠組み

デジタル前提への転換

アナログ前提

- 「モノ」の所有を重視
- たまに繋がる関係
- リニアな成長モデル
- 既存プロセスの効率化

デジタル前提

- 「コト」の体験を重視
- 常時接続の関係
- ノンリニアな成長
- ビジネスモデルの再構築



ツインターボエンジン



ターボ1

高速・高頻度・高成功率

AIとソフトウェアによる問題解決の極限までの高速化。数秒での融資審査、リアルタイム不正検知を実現します。



ターボ2

ネットワーク効果

参加者が増えるほど価値が高まる仕組み。BaaSプラットフォームによる自己増幅的な成長を実現します。

無選択型意思決定の時代

1

従来

顧客が情報収集し、複数の選択肢を比較検討して「選択」

2

AI時代

AIエージェントが分析・予測・選択を代行

3

人間の役割

AIの提案に対してYES/NOの「承認」のみ

- ❑ 従来のマーケティングや行動経済学は無効化され、銀行は「AIに選ばれる」ための戦略が必要です。



エージェント型AIの台頭

自律型金融の実現

2025年、生成AIは「エージェント型AI」へ進化しました。自ら計画し、ツールを使い、タスクを実行する自律型AIです。

- **Piere・Cleo:** 口座間で資金を自律的に移動させ、貯蓄・投資を最適化
- **Klarna:** AIエージェントが商品を理解・比較・購入するプロトコルを発表



労働市場の構造変化

20万

欧州の銀行雇用

2030年までにAI導入により失われる
雇用数(Morgan Stanley予測)

黒字リストとAI人材の争奪戦が同時進行しています。

2025

日本の転換点

団塊世代の後期高齢化と労働力不足
が銀行のAI化を加速



成功事例

ロールモデル分析

DBS銀行

1,500以上のAIモデルを実装。「AI産業化」により開発期間を18ヶ月から数週間に短縮し、経済効果1,100億円を達成。

Nubank

顧客数1億2,200万人。「Money Platform」構想でAIが自動で資産を最適化し、無選択型意思決定を実現。

住信SBIネット銀行

NEOBANK戦略でBaaS経由の口座数200万超。パートナーのネットワーク効果で成長するモデルを確立。

2026年の銀行モデル

インターフェースの支配者

顧客とのプライマリーな接点を持ち、AIエージェント(執事)を所有。どの金融商品を使うかを決定する権限を持つプレイヤー。

インフラの提供者

銀行ライセンス、資本、決済ルールを提供。BaaSとして機能し、AIエージェントに選ばれるためにAPI性能を競う。

銀行の役割は明確に二極化します。



生き残りのための処方箋



メガバンク

独自の金融執事(AIエージェント)を開発し、非金融エコシステムを買収・提携により取り込む。行内データを構造化し、独自モデルを構築。



地域金融機関

地域の中小企業や高齢者の資産継承など、文脈依存度が高い問題解決に特化。地域内でのネットワーク効果を創出。



ネット銀行

AIエージェントによる「提案→承認」のサイクルを極限までスムーズに。顧客が「考える」時間をゼロにすることが最大の価値。

変革か、消滅か

2026年の金融業界において、「デジタル前提」への移行は生存のための最低条件です。

01

自己否定を伴う変革

従来のビジネスモデルからの脱却

02

AIエージェント戦略

執事となるか、選ばれるインフラとなるか

03

ルールチェンジの実行

次の時代を生き残る組織への進化

